

宮崎日大 18年ぶり優勝



甲子園 県予選 13-0で宮崎学園破る

夏の甲子園出場を懸けた第97回全国高校野球選手権宮崎大会最終日は28日、宮崎市のKIRISHIIMAサンマリンスタージアム宮崎で決勝を行い、第3シード宮崎日大が第8シード宮崎学園を13-0で下し、18年ぶり2度目の優勝を果たした。

宮崎日大は一回、前田禎史と溝上憲伸の連続適時打で2点を先制。四回には2死から相手失策で走者を出すと、4連打で4点を追加し、前半で主導権を握った。先発の杉尾剛史は切れのある直球を軸に、計8回を1安打無失点と力投した。宮崎学園はエース横山楓が序盤から打ち込ま

れ、四回途中で降板。打線も沈黙し、反撃の糸口をつかめなかった。夏の甲子園は8月6日に開幕。組み合わせ抽選会は同3日、大阪市のフェスティバルホールで行う。

【宮崎日大 戦績】
▽2回戦 5-2 小林
▽3回戦 10-0 日向(6回コールド)
▽準々決勝 1-0 都城
▽準決勝 2-1 聖心ウルスラ

【宮崎日大 沿革】
所在地：宮崎市島之内6822の2
学校創立：1963(昭和38)年
野球部創設：1964(昭和39)年

【決勝・宮崎日大-宮崎学園】
1回裏宮崎日大1死二、三塁、先制タイムリーを放つ4番前田 28日午後、KIRISHIIMAサンマリンスタージアム宮崎

(詳細は29日付朝刊で)